

しなバス運行改善策(案) 意見募集 ～寄せられたご意見と区の考え方～

実施期間: 令和6年1月11日から令和6年1月26日まで

意見数: 8名(20件)

※No.の親番は、意見者ごとに付番しています。

※ご意見については、趣旨を損なわない範囲で要約しています。

単位: 件

資料3

	ルート	運賃	停留所	広告	その他	計
件数	8	7	2	1	2	20

No.	ご意見(要旨)	区の考え方
1-1	武蔵小山、西小山などから大井、八潮方面へのルートが無い(東急バスの井50系統は便利)。品川区も他区のように、区内を巡るバスが欲しい。	いただいたご意見の区内を巡るバスの運行については、区内バス路線が発達している中で、区が広範囲にコミュニティバスを運行させることは、民間バス路線の圧迫につながるため難しいと考えております。コミュニティバスの導入に際して、区では、13地域を11の指標で点数化し、導入効果の高い地域を選定し、最も導入効果の高かった大井ルートから試行運行を開始しました。コミュニティバスの候補ルートとして選定されている「大崎ルート」および「荏原ルート」については、現在の大井ルートの試行運行の状況等を見ながら、判断していきたいと考えています。
2-1	駅から遠い区の施設や公園、商業施設までのルートなど、新ルートの開拓をしてほしい。	新ルートの開拓については、すでにコミュニティバスの候補ルートとして選定されている「大崎ルート」および「荏原ルート」を中心に、大井ルートの試行運行の状況等を見ながら、判断していきたいと考えています。
2-2	運賃の値下げ(100円)をしてほしい	しなバス大井ルートは、民間バス路線と一部競合しており、また、本格導入の基準である収支率も考慮し、導入当初、複数運賃での運賃収入の試算を行った結果、基本的には一般路線バスと同等の運賃制度を設定することとしています。
2-3	民間企業が社員のためだけに運行しているバスを地域の人にも開放してほしい。	民間のシャトルバスは、主に施設の利用者、勤務している方、もしくはそこに入居する会社に用事のある方向けに運行されており、その運行費用は、通常、各施設が負担しており、区として、一般利用まで拡大し開放を求めるものではないと考えます。
3-1	運賃を安くしてほしい。	しなバス大井ルートは、民間バス路線と一部競合しており、また、本格導入の基準である収支率も考慮し、導入当初、複数運賃での運賃収入の試算を行った結果、基本的には一般路線バスと同等の運賃制度を設定することとしています。
3-2	路線を増やしてほしい。	コミュニティバスの導入に際して、区では、13地域を11の指標で点数化し、導入効果の高い地域を選定し、最も導入効果の高かった大井ルートから試行運行を開始しました。コミュニティバスの候補ルートとして選定されている「大崎ルート」および「荏原ルート」については、現在の大井ルートの試行運行の状況等を見ながら、判断していきたいと考えています。
3-3	地域センター・文化センター・健康センター・総合体育館・駅・品川の観光地に停留所がほしい。	いただいたご意見の区主要施設を巡るバスルートの新設について、区では、13地域を11の指標で点数化し、導入効果の高い地域を選定し、最も導入効果の高かった大井ルートから試行運行を開始しました。コミュニティバスの候補ルートとして選定されている「大崎ルート」および「荏原ルート」については、現在の大井ルートの試行運行の状況等を見ながら、判断していきたいと考えています。
3-4	東急バス等のルート以外を通過してほしい。	区では、13地域を11の指標で点数化し、導入効果の高い地域を選定し、最も導入効果の高かった大井ルートから試行運行を開始しました。また、ルートについては、各地域でのワークショップでのご意見や交通管理者等の協議を踏まえ、決めております。
3-5	大森駅から五反田文化センターまで等、もう少し距離を長くしてほしい。	区では、13地域を11の指標で点数化し、導入効果の高い地域を選定し、最も導入効果の高かった大井ルートから試行運行を開始しました。同ルートについて、現在のところ、五反田文化センターまで延伸する予定はございませんが、コミュニティバスの候補ルートとして選定されている「大崎ルート」および「荏原ルート」については、現在の大井ルートの試行運行の状況等を見ながら、判断していきたいと考えています。
4-1	これからも運行するのを考えたら値上げは賛成。	今後、運賃協議会および地域公共交通会議での議論が前提となりますが、区としましては、ご意見の通り、実施していきたいと考えております。
4-2	子育て支援策についても、家計の負担を少しでも低減させるのには大変有利なので、是非導入してみたいか。	今後、運賃協議会および地域公共交通会議での議論が前提となりますが、区としましては、ご意見の通り、実施していきたいと考えております。

4-3	大森駅北口～さくら会前のバス停の間が長すぎるので、1箇所新設しても良い。また、大森駅北口のバス停を大森駅東口のロータリーに移動できないか。	<p>いただいたご意見のバス停の新設については、コミュニティバスのルート設定やバス停設置に関し、民間バス路線と重複しないことを基本としております。ご指摘の区間については、既存バス路線があり、同路線のバス停と重複しないよう配慮しております。</p> <p>また、大森駅北口バス停の移設については、試行運行を開始する段階で、区としましてもロータリーへのコミュニティバスのバス停の設置を検討しておりました。関係者と調整を進めていくなかで、民間バスの乗り入れですでにスペースがいっぱいであったため、一番駅に近くかつバス停の設置できる場所を検討し、現在のバス停の位置になっております。</p>
5-1	戸越や武蔵小山へ私鉄を使わずいけるよう、路線を増やしてほしい。子育て支援割は賛成だが、コミュニティバスなので、安く皆さんが乗れる方が使いやすい。区内の主要な商店街や施設をまんべんなくつなぐと、非常に便利だと思う。	<p>いただいたご意見の区内主要施設をつなげるコミュニティバスの導入については、区内バス路線が発達している中で、区が広範囲にコミュニティバスを運行させることは、民間バス路線の圧迫につながるため難しいと考えております。</p> <p>コミュニティバスの導入に際して、区では、13地域を11の指標で点数化し、導入効果の高い地域を選定し、最も導入効果の高かった大井ルートから試行運行を開始しました。コミュニティバスの候補ルートとして選定されている「大崎ルート」および「荏原ルート」については、現在の大井ルートの試行運行の状況等を見ながら、判断していきたいと考えています。</p>
5-2	沿線空家を使った立寄施設等があってもよい。	<p>いただいたご意見は、空き家施策を所管する住宅課に共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
6-1	念願のコミバスが通り、大変良かった。出来るだけ他区のように品川区内をくまなく走って欲しい。更に大崎方面、大井町方面、八潮と伸ばしてほしい。	<p>区内くまなくコミュニティバスを走らせてほしいとのご意見については、区内バス路線が発達している中で、区が広範囲にコミュニティバスを運行させることは、民間バス路線の圧迫につながるため難しいと考えております。</p> <p>コミュニティバスの導入に際して、区では、13地域を11の指標で点数化し、導入効果の高い地域を選定し、最も導入効果の高かった大井ルートから試行運行を開始しました。コミュニティバスの候補ルートとして選定されている「大崎ルート」および「荏原ルート」については、現在の大井ルートの試行運行の状況等を見ながら、判断していきたいと考えています。</p>
6-2	広告を多くする等の努力や認知してもらう方法等をもっと考えていきたい。	<p>広告については、まだ件数は少ないものの、現在でも車内広告や車内アナウンスをご利用いただいているところです。今後も持続可能なコミュニティバスの運行に向けて、広告費の増加につながる周知・取組等を検討していきます。</p>
7-1	区内の主要文化施設を結ぶコミュニティバスの運行をお願いしたい。	<p>いただいたご意見の主要施設を結ぶコミュニティバスの運行については、区内バス路線が発達している中で、区が広範囲にコミュニティバスを運行させることは、民間バス路線の圧迫につながるため難しいと考えております。</p> <p>コミュニティバスの導入に際して、区では、13地域を11の指標で点数化し、導入効果の高い地域を選定し、最も導入効果の高かった大井ルートから試行運行を開始しました。コミュニティバスの候補ルートとして選定されている「大崎ルート」および「荏原ルート」については、現在の大井ルートの試行運行の状況等を見ながら、判断していきたいと考えています。</p>
8-1	スマホ回数券の導入について、乗車の際に乗務員にスマホ画面を提示し、各情報を乗務員が確認して乗車するという方法は、乗務員の負担が増えてしまわないか。また、乗務員がスマホ画面の確認に集中し、安全を損なうことがないか。	<p>乗務員にスマホ画面を提示し、各情報を乗務員が確認して乗車するという方法は、すでに路線バスでも導入している紙式定期券やシルバーパスなどと比較しても、乗務員の負担は増えることもなく、安全を損なうこともないと考えております。</p>
8-2	スマホの電波状況等の影響で画面の提示に時間が掛かってしまい、運行も遅れてしまうのではないか。	<p>電波状況およびバッテリーの状況で画面をご提示いただけない場合には、別途手段にて運賃をお支払いいただいております。</p>
8-3	乗車時の運賃収受については、出来るだけ操作が簡単で乗務員が確認しやすい方法が良いのではないか	<p>ご指摘の運賃収受の方法については、区としても出来るだけ利用者・乗務員いずれにとっても分かりやすいものが良いと考えております。今回、導入予定のスマホ回数券については、利用者が「チケットを使用する」ボタンをタップし、表示された画面を乗務員に提示するというものですので、利用者・乗務員双方にとって分かりやすい方法であると考えております。</p>